



## ALSO プロバイダーコース

in 宮崎

Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースです。またプライマリケア医だけでなく産婦人科の研修医を対象とした訓練でもあり、1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案しました。1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians(AAFP-米国家家庭医学会)によって認可され、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられています。また米国の家庭医レジデンシープログラムの内、78%がALSOをプログラムに導入しています。さらにALSOコースは世界的に普及活動が行われており、現在までに、50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了しています。コースの教材は、シラバス(教科書)、レクチャー、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップで筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)がコースに含まれています。プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、参加者は5年間有効の認証を受けることができます。

今回は宮崎県および宮崎県産婦人科医会・宮崎県産科婦人科学会が主催で、宮崎県で初のALSOプロバイダーコースを開催することになりました。対象は宮崎県下で勤務する研修医、助産師および産婦人科ならびにその他の診療科医師です。宮崎県の周産期医療の益々の充実を図るために、産婦人科医や助産師等の産科医療に携わる全ての医療人の協力体制作りの一環として、ALSOコースを開催いたします。皆様のご参加をお待ちしています。

セミナー：ALSO プロバイダーコース

主催：宮崎県・宮崎県産婦人科医会・宮崎県産科婦人科学会

共催：NPO 法人周産期医療支援機構 (OPPIC)

開催場所：宮崎県医師会館 5階会議室

日時：平成27年度9月5日(土)、6日(日)

※本コースは公募を行っておりません。